

集中治療を要した重症心血管病患者の予後調査

2017年から2027年までに心臓血管集中治療室で治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「集中治療を要した重症心血管病患者の予後調査」という研究を行います。この研究は、2017年1月1日より2027年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科にて、治療を受けられた患者さんの予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：集中治療を要した重症心血管病患者の予後調査

研究期間：研究実施許可日～2027年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科 山本 剛

(2) 研究の意義、目的について

心血管病に対する急性期治療は、著しい発展を遂げ心血管病の急性期死亡率は大きく低下しました。一方で心血管病の終末像である心不全患者は年々増加し続け社会問題となっています（心不全パンデミック）。本研究では、急性期に集中治療を要した重症心血管病患者さんの背景、治療法とその後の経過を調査することで、急性期の治療と予後との関連を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2017年1月1日より2027年12月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科に入院された患者さんの背景、治療法とその後の経過を解析し、急性期治療と予後についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴、内服歴、血圧値、心拍数、酸素飽和度、血液検査値、各種画像検査所見、退院後の外来通院歴等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科 准教授 山本 剛

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24370

メールアドレス：yamamoto56@nms.ac.jp